



令和6年度 綜成苑 事業計画書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)



【基本目標】

法人の基本方針に基づき、以下の5つの基本目標を掲げます。

- 1 個人の人格と尊厳を守ることを基本に、お一人おひとりの意思決定に基づいたサポートや、個性を尊重したサポートを行います。
- 2 高齢化・重度化に対応するため、環境整備や病気・ケガの予防などの健康管理を徹底するとともに、食事による健康の維持や衛生に配慮し、生活の質が高められる食事の提供を行うなどの栄養管理に取り組みます。
- 3 職員の専門性を高め、お一人おひとりのニーズに対応したサポート体制の確立に向け、職員の資質の向上に取り組みます。
- 4 授産作業の効率性を高め、生産力の向上を図ることにより、取引先との関係を強化します。
- 5 お一人おひとりの家庭内生活の安定のために、保護者との連携を密にし、情緒面の安定や生活の質の向上に取り組みます。



【組織】

総務部・・・施設運営マネジメント、施設の維持管理、庶務全般等

更生部

生活支援班・・・施設入所支援(夜間)、生活介護事業(日中)

短期入所事業、日中一時支援事業

授産部

就労継続班・・・就労継続支援B型事業(通所)

通所支援班・・・生活介護事業(通所)

【具体的な取組内容】



1 総務部

(1) よりよいサービスを継続させるための安定経営

- ① よりよいサービスをご提供するには、安定的な収入の確保がかかせないため、一層の経費削減に取り組み、各種加算の算定要件等の確認・取得を行います。

(2) 安心安全な施設の維持・改善

- ① 利用される皆様が安心安全に生活を送れるよう、老朽化や危険な場所については随時修繕するとともに、排水管路の改修工事等の大規模な修繕や非常電源設備の配備を行います。設備更新については助成事業等を活用してまいります。
- ② 令和5年度に策定した自然災害や感染症発生時における事業継続計画を実行性のあるものにするために、年2回の研修や訓練を実施します。
また、感染症の発生や感染拡大を防止するために感染症対策会議を3か月に1回実施し、利用される皆様の健康と安全を守る施設運営を行います。



(3) 人材育成の強化及び各部との連携

- ① 施設内外の研修へ積極的に参加し学び、総務部職員の資質向上に努めます。
- ② 更生部、授産部のケース会議等に参加し、情報を共有し、課題を一緒に考え解決につなげます。

(4) 医務部門

- ① 体調の観察・管理を行い、異常の早期発見や治療につなげます。
- ② 疾病の予防・治療のため通院を行わせていただきます。
- ③ 定期的に健康診断を実施させていただきます。
- ④ 日常の服薬管理を行なわせていただきます。
- ⑤ 排便管理を行わせていただきます。



(5) 栄養部門

- ① 利用される皆様の健康と栄養状態を維持・向上するための栄養ケアマネジメントをさせていただきます。
- ② 安全な食事を口から摂取できるように、摂食機能（咀嚼・嚥下）に応じ



た食事内容・食事形態をご提供させていただきます。

- ③ 衛生管理の徹底を図るため、給食委託業者に対して衛生指導を行います。
- ④ 食べる楽しみの充実を目指して、イベント食（誕生日・選択メニュー・季節の食材を使った献立）を企画し、ご提供させていただきます。
- ⑤ ご本人に適した食事環境（姿勢・体位・テーブル・椅子・食器具）を調整し、ご提供させていただきます。

2 更生部

(1) ライフステージにあったサポートを充実させるために

- ① お一人おひとりのニーズにあった活動ができる内容を提案し、ユニットでの効果的な支援が出来る環境を提案します。日常生活動作をリハビリの一環として捉え、自立した生活を支援する生活リハビリに取り組むとともに、3階多目的ホールを使用し、歩行訓練や、リハビリ、ストレッチ等様々な活動に取り組みます。



また、ひとりひとりにあった介護体制を整えていくため、職員教育・環境整備・介護計画の作成にも取り組んでいきます。

- ② お一人おひとりがいつまでも楽しい食事出来るように、食事環境の改善、口腔ケアの充実、機能維持のためのトレーニング（鍛錬くん、パタカラ体操等）を継続して実施いたします。



- ③ お一人おひとりの ADL の評価を見直し、コロナウイルス感染症によって取り組めていなかった活動の実施や、自室や共用スペースでの生活用品の見直しを行い、利用される皆様に適した生活環境を提案します。





(2) 日々を安全に暮らしてもらうために

- ① 施設内の整理整頓を徹底し安全で清潔な生活空間を提供いたします。併せて危険箇所などのチェックを行い、環境による事故を防ぎます。
- ② 安全安心な生活を送るため、施設内外の安全点検を行うとともに、年2回防災避難訓練等を実施いたします。訓練時には、想定される様々な災害の実態に則した避難経路を考察し、避難経路にも危険箇所がないかをチェックいたします。階段昇降機を使用した避難訓練も定期的に実施いたします。
- ③ 各種リスクマネジメントの研修を定期的に行い、常に職員が意識をもち業務に努められるよう周知徹底していきます。
- ④ インシデント・アクシデント報告と分析の徹底を行い、事故のない環境を作ります。



(3) 日々を楽しく過ごしていただく活動として

個別支援計画に基づき、お一人おひとりに必要な活動を計画して、充実した生活を送れるようにサポートします。また、少しでも新型コロナウイルス感染症流行前の生活に戻せるように、日常生活の充実を図ります。

- ① 運動レクリエーション・・・ボッチャやレクリエーション、テレビゲーム機のスポーツゲームを活用して身体を動かすなど、楽しんで運動出来る機会を提供します。屋外でのスポーツ活動に取り組み、リフレッシュしながら運動を行えるようにします。
- ② 音楽レクリエーション・・・3階多目的ホールでカラオケを楽しんだり、楽器を使った音楽活動を実施し、皆で一つの曲を演奏できるように日々練習していきます。それと併せてピュアハートの活動にも参加していきます。
- ③ 創作活動・・・・・・・・・・季節に合わせた展示物をみんなで創作し、作品を施設内に展示することで、次の創作への意欲向上と楽しみを感じてもらえるような時間にしています。展示会への出品も目標としていきます。
- ④ 喫茶支援・・・・・・・・・・利用されるが普段と違う雰囲気、カフェ気分を過ごせるように、月に1度施設内で喫茶イベントを開催しています。カフェ風音楽を流し自分でメニューを選んでもらい、実際に接客をする経験をしてもらえる機会にしています。



- ⑤ 苑外活動……………小グループに分かれお一人おひとりの希望に応じた苑外活動を実施し、健康の維持や精神面のリフレッシュを行わせていただきます。活動時の外食支援なども計画的に実施しメニューを選ぶ楽しみや普段と違う食事内容なども楽しんで頂きます。「県・市親子のつどい」などへ参加します。



- ⑥ ハンドケア……………リラクゼーションを目的とした活動で、利用される皆様が個別の空間で本格的なハンドケア、足浴を体験していただきます。アロマなどを使用して、好みの香りを選びながら楽しい時間を過ごしていただきます。
- ⑦ 食事・身体リハビリ……………定期的に理学療法士が来苑し、支援員、栄養士、看護師にアドバイスをを行い、連携しながら残存機能の維持を目的とした身体機能のリハビリや介護状況に応じた環境整備、食事支援を実施します。
- ⑧ 親子外出支援……………利用される皆様・保護者の高齢化に伴い、帰省が行えず親子で過ごす時間が少なくなってきました。その為、支援員がサポートする事により外出や外食を行う機会を計画し、少しでも親子で過ごすことのできる時間を提供します。



(4)特定のニーズのある方への支援を行うために

- ① 医療ケアが必要なご利用者様が出来る限り施設での生活をする為に医療機関との連携強化に努めます。
- ② 強度行動障害にある状態のご利用者様への対応の強化に努め、安心して生活出来る環境を提案します。
- ③ 高齢知的障害者への対応として、高齢に伴う課題と障害の特性へ配慮した支援・介護の方法を理学療法士、看護師、栄養士や医療機関と連携し検討・実践していきます。

(5)専門性のある支援員育成のために

- ① 支援信条・サービス提供の心得・職員行動の心得を職員間でより一層浸透させるため、朝礼時に唱和を行い意識的に業務が遂行出来るよう職員全体にアプローチしていきます。

- ② 障害特性に応じた支援が出来る人材育成のために、研修への参加をサポートします。
- ③ 介護福祉士や社会福祉士等の国家資格取得をサポートします。
- ④ 虐待防止研修などを通じて人権意識や専門性の高い人材育成に努めます。
- ⑤ 高齢化するご利用者様への安全な支援を提供するため介護技術の研修を行います。理学療法士と連携し、部内にて食事介助の研修等にも取り組みます。

(6)感染症対策として

- ① 日々の消毒作業、空気の入れ替えを行い、感染予防に努めます。
- ② 感染症ガイドラインに対する研修を定期的に行い職員の感染症への意識の向上を行います。また、感染症対策班を設置し、感染症対応の取り組みを強化します。



(7)地域交流として

- ① グリーン団地の自販機清掃を定期的に行います。
- ② ピュアハートコンサートを通じて、地域のイベントへの参加を行います。



3 授産部

B型・生活介護共通

(1) 支援信条の浸透

支援信条、サービス提供の心得、職員行動の心得を毎週全職員で唱和し、各月の目標を立て、支援者への意識付けを行い、支援の場面に取り入れていきます。

(2) 専門的知識の向上

各研修会へ積極的に参加し支援における知識の向上を図ります。また学んだ知識や習得した技術を他の職員に発表・伝達することで支援者のスキルアップを行います。

(3) 体調面の管理

利用される皆様の体調管理においては、ご家族様と連携し健康を損なわないよう努めます。また体調管理だけでなく、利用される皆様やご家族様が安心・安定した生活を送れるよう他機関とも連携し情緒面の安定を図り、あわせて通所率の向上を行います。



就労支援B型

(1) 授産収入の安定について

現取引先との関係性の強化を行い、安定した作業量の確保を行います。また、現行の生産体制の見直しを含め、新規の作業を取り入れていきます。また、利用される皆様の障害特性を考慮し、作業量や作業内容の見直しを行い生産意欲の向上と生産量の安定につなげていきます。

新規取引先については、常に開拓の意識を持ちます。

(2) 会議の実施

定期的な「生産会議」を継続して実施し、作業量の安定および収入の向上を行い工賃アップを行います。



生活介護

(1) サービス提供について

利用される皆様の障害特性に見合った日中活動の場を提供し日々の活動を通して楽しみを見出し、満足感をもってもらえるようなサービスの提供を行います。

(2) 支援環境について

- ① 利用される皆様の障害特性を考慮し、必要に応じて個別支援スペースの確保・提供を行い、情緒面の安定を図ります。
- ② 強度行動障害をお持ちの利用者様にも快適に過ごしていただける個別プログラムを計画・作成し取り組みます。



作業量目標種目別 年間作業計画
就労継続支援 B 型

事業	作業内容	令和 6 年度生産目標額	令和 5 年度実績見込額	増減額
就労 B 型	・ 食品容器加工	4,900,000 円	4,420,000 円	480,000 円 (10.8%増)
	・ 雑貨組立加工	8,020,000 円	7,660,000 円	360,000 円 (4.6%増)
	・ カレンダー事業	2,600,000 円	2,600,000 円	0 円
	・ 文具・日用品の 小売業	8,400,000 円	8,400,000 円	0 円
	自主製品 ・ 木耳の販売	600,000 円	580,000 円	20,000 円 (3.4%増)
合 計		24,520,000 円	23,660,000 円	860,000 円 (3.6%増)
工 賃		12,000,000 円	11,150,000 円	850,000 円 (7.6%増)

生活介護

生活介護では、令和 5 年度に 1,400,000 の作業収入見込みがあり、経費を除き、全額を利用される皆様に分配する予定です。

令和 6 年度も、令和 5 年度と同額の作業収入を目標額としています。

【地域での公益的な取組】

（１）短期入所の受け入れ（緊急時の対応）

身近な施設でご家族様の暮らしを支えるために短期入所を積極的に受け入れさせていただきます。

- ① 居宅で介護されているご家族様の急病・急用等に応じて利用していただきます。
- ② ご家族様の介護負担軽減や休息のために利用していただきます。
- ③ 将来の入所生活を見込んでの体験的のために利用していただきます。
- ④ 短期入所・日中一時支援の利用促進のために相談支援事業所及び他機関と連携を図ります。

（２）施設・設備を活かした取組み

福祉避難所として、災害時に障害児者である要援護者様を受入れさせていただくため、既存施設の一部を拡張し、障害特性に応じたスペースを確保しています。

（３）他施設・教育機関との連携

- ① 学校職員、ご家族、生徒の皆様方の見学や実習を積極的に受け入れさせていただきます。
- ② 他施設への職員実習・他施設からの職員実習の受け入れを積極的に行います。
- ③ 福祉の仕事を理解してもらうためにインターンシップを希望する学生を受け入れさせていただきます。



（４）地域への参加、連携

- ① 地域との交流を図るために夏祭り「ふれあいの郷・夏の夕べ」を実施いたします。
- ② 西脇グリーン団地設置の自動販売機周辺を清掃（月２回）いたします。
- ③ 磯ノ浦海水浴場の清掃に参加いたします。
- ④ 近隣の学校文化祭行事に参加いたします。



【その他】

年間行事予定

5月 市 親子のつどい

6月 苑外活動

8月 「ふれあいの郷夏のタベ」、

9月 三つわ祭り参加

10月 苑外活動・ハロウィンパーティー・県 親子のつどい

12月 和歌山県ゆうあいスポーツフェスタ・クリスマス会

1月 鏡開き

2月 節分豆まき

3月 市社協祭り

